

## 取材

## 住金物産の最近の中国事業活動



渋谷 龍一 (しぶたに りょういち)  
住金物産株式会社 北京事務所 所長

住金物産渋谷龍一北京事務所長に中国での最近の事業活動についてお聞きした。

同社は、加工メーカー型商社を標榜し、鉄鋼、機械・金属、繊維、食糧の4本を事業の柱としている。繊維では、アパレルメーカーへのOEM（相手先ブランドによる生産）供給を主力事業とし、中国での生産を強みに、素材開発から製品の企画、生産、物流までを一貫して手がける「トータルソリューション機能」を有する。

繊維の業績については、近年、衣料品の百貨店を中心とした販売不振が長引き厳しい状況が続いているが、OEM機能の拡充や販路の開拓等を行い、回復を目指す。また、今年、高機能繊維（発熱・保温効果、生地黄ばみ抑制）を開

発し、高付加価値商品のOEM供給の拡大を目指す。従来、OEM生産は、香港、中国沿岸部を主力としてきたが、今後は、内陸部やASEANでの生産も拡大する。

内販強化のためには、現地化とともにナショナルスタッフの人材育成が重要となる。同社では、日本での幹部候補生の研修も実施し、日本語を理解し、日本のコミュニケーション、考え方も理解できる人材の育成に取り組む。生産工場では、すでにナショナルスタッフの幹部登用を始めている。

そのほか、今後の事業展開としては、中国以外の生産比率の拡大を目指し、チャイナプラスワンをさらに深耕するとともに、第3国貿易にも注力する方針。また、中国とASEANとのFTAの発効をにらみ、上海近辺の中国企業では、中国の原料、生地等をベトナムに、あるいはミャンマーに持っていき、加工して中国に持ってくるといった動きが見られるが、将来的にはこのような動きも捕捉していくようである。

なお、渋谷さんは、水泳が大変得意で、今年10月24日開催のFESCO（北京外企人力資源服務有限公司）主催の水泳大会50m自由形老年組に参加し、見事に優勝。同大会三連覇を達成された。Congratulations！

（2009年10月27日：広報グループ 山中） 

